春のおたのしみ 湯ノ岱町内会お花見開催

4月28日㈰、湯ノ岱地区複合施設前にて、湯ノ岱町内会と湯ノ岱老人クラブの合同によりお花見が開催されました。

この日は、今年4月から着任した湯ノ岱駐在所の山口さんの歓迎会も併せて行われたほか、上ノ国ワイナリーからワインが提供されるなど、湯ノ岱地区の住民が協力しあった温かなお花見となりました。

参加者たちは満開の桜の花を眺めながら、おいしい食事と冷えたお酒やジュースを片手に、大きな笑い声を響かせ、楽しく有意義な時間を過ごしました。

GWの道の駅もんじゅは熱気に包まれ大賑わい！

5月3日㈮から5日㈰の3日間、道の駅上ノ国もんじゅで「GWミニイベント」が開催されました。

キッチンカーや町内事業者による露店からは風とともに食欲をそそる匂いが漂い、お昼時には行列ができているお店もありました。

フリーマーケットでは、多種多様な商品が並び、多くの来場者が足を止めて商品を手に取り、出店者との交流を楽しんでいました。

館内の物産店にも、町内産の新鮮な野菜や海産加工品などを購入する人で溢れていました。

3日間ともに晴天に恵まれたイベントは、大盛況となりました。

みんなで楽しく よもぎ団子づくり

5月9日㈭、上ノ国保育所のくま組・とら組の子どもたちが、よもぎ団子づくりを行いました。

すり鉢とすりこぎを使ってよもぎをすりつぶす工程では、力を使う作業だったため、みんなで交代しながら協力して頑張っていました。

すりつぶしたよもぎと団子の生地を練り合わせ、一口サイズに丸める工程では、「見て！できたよ！」と見せ合いながら楽しく作業していました。

作ったよもぎ団子はおやつの時間に振る舞われ、みんなおいしそうに頬張っていました。

森尚美さんが上ノ国高校の地域コーディネーターに就任

上ノ国高校の地域コーディネーターに、森尚美さん（上ノ国在住）が就任しました。

これは、北海道教育委員会の指定事業である『北海道ＭＡ＋ＣＨプロジェクト』の取り組みの一つで、地域コーディネーターの配置によって学校と地域が連携し、地学協働体制の構築や活動の支援を行うものです。

森さんは今回の話を受けた理由について、「去年、高校の地域探究授業でさまざまな話を聞き、高校生の素直で柔軟な考えや意見に触れておもしろさを感じたから」と笑顔で話し、「活動を始めてからたくさんの方々との関わりが増えているので、知らなかったことや高校生の活動に繋げられることがたくさんありそう」と活動の状況を話す姿から、檜山や上ノ国町に対する熱い思いが伝わってきました。

高校生の活動についての提案や人材紹介などは、是非森さんにご連絡をお願いします！